

# みんなの顔が見えるまち

人権シリーズ vol.11



## 「明るく住みよくながへる」

### 「地区別人権学習会を振り返って」

国東市が発足して1年が経過しました。昨年5月の市報で「みんなの顔が見えるまちをめざす」として、啓発及び教育の各部門で取り組む事業についてお知らせしました。

今月号では、国東町人権・同和教育啓発推進の柱として「地区別人権学習会」の取り組みについて、この一年間を振り返りながら今年度へつなげるため、検証をしてみます。

3月末、2会場を最後に「地区別人権学習会」が終了しました。昨年度はそれぞれの地域の特色を活かしながら合併前と同じ運営方法で取り組んで来ましたが、広域化した地域については参加者数が増えるように伸びなかったことや、参加型学習（ワークショップ）を運営するにあたり、ファシリテーター（会の円滑な運営や講師を兼ねた役割をする人）としての資質を問われることなどの課題が残りました。



国東市内全113会場、延べ2,134名の方が参加しました

- ・しかし、参加型学習では、楽しんで学習することが出来た。
- ・会場の雰囲気は今までと違った。
- ・自分を振り返ることが出来た。
- ・みんなと話すことで、自分と同じように考えていることが分かった。
- ・など、意見が出されました。

## 民間の力を地域に活かそう

○指導者育成研修会の開催を予定しています。  
詳細については後日お知らせします。  
問い合わせ 生涯学習課人権・同和教育係  
☎0978②2121

※地区別人権学習会に関する問い合わせ  
☎0978②9001

「暮らし安心、子どもたちが夢と希望を持てるまち、  
一人ひとりの人権が尊重され、幸福が約束されるまち」



さて今年度も「地区別人権学習会」を行います。そこで地域の人材を活用し、講師やファシリテーターの育成に努めていきます。

ご存じですか？



このマーク

公共の施設以外でも見かけることが多くなっ

たこのマークは、国際シンボルマークとして、国際リハビリテーション学会が定めたものです。身障者の方が利用できる施設を示したもので、トイレや駐車場などで多く見られると思います。車イスを利用される方はその分広いスペースが必要となります。



「モラル・マナー・デリカシー」

日本語訳すると複数の意味がありますが、主に道徳、行儀、作法、気配り・気遣いなどという意味になるかと思えます。

このマークが描かれている駐車場には、健常者の方は急ぎの時でもこのスペースに駐車することはご遠慮いただくようお願いいたします。